

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

所在地：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

電話：03-3467-2525 <http://www.nyc.go.jp>



交通機関のご案内

- 電車 ●東京駅からJR中央線（約14分）新宿駅乗換え
小田急線各駅停車（約3分）参宮橋駅下車徒歩約7分
- 地下鉄千代田線代々木公園下車徒歩約10分

第44回 石井式漢字教育 夏期指導者研修会のご案内

平成24年7月30日(月)～31日(火)開催
国立オリンピック記念青少年総合センター

本年も日本漢字教育振興協會は、石井式漢字教育実践園だけでなく、広く幼稚園・保育園の皆様方に参加していただきたく、平成24年度第44回夏期指導者研修会をご案内申し上げます。

第1日目、第1講義は、コミュニケーション・オフィスの勤務を経て、現在は、「ことば」に関する本を執筆されている杉山美奈子先生による「日本語の美しさ、やさしさ」についてです。心を豊かにする、心遣い溢れる“言葉づかい”とはどのようなものでしょう。先生方が子供達と係る中で実際に使えるようにわかりやすく解説していただきます。

第2講義は、早稲田大学大学院教授、笹原宏之先生に日本語の奥深さや面白さなど「知られざる漢字の楽しさ」と題して講義していただきます。

第3講義は、毎回好評の故石井勲先生の講義映像を視聴していただき、石井先生の幼児教育に対する熱い思いと石井式漢字教育の原点を共に学んで参りたいと思っております。

第2日目、第4講義は、国立歴史民族博物館館長の平川南先生による「漢字の歴史を巡る旅」です。漢字が日本にどのように根付いていったか、歴史的背景を踏まえてルーツをたどっていただきます。

第5講義は、石井式漢字教育を導入されている3園（幼稚園1・保育園2）に実践発表をしていただきます。各園とも特色ある取り組みで成果を上げています。現場の先生方のご苦勞とご努力の成果ほど感動的で有意義なものはありません。是非ご参考になさってください。

第6講義は、石井式指導部による「楽しい群読」です。群読の指導法および脚本例のご紹介をします。当會主催の「読み検定」に昨年度から「群読」が加わりました。この講義では、実技指導も行いますので、ぜひお楽しみ下さい。群読の魅力とその保育における効果をぜひ各幼稚園、保育園で実践してみてください。

ご参加くださる先生方に、幼児教育と石井式漢字教育の大切さを再認識していただける有意義な研修会になるものと確信しております。多数のご参加をお待ち申し上げます。

平成24年6月吉日

主催 特定非営利活動法人 日本漢字教育振興協會

プログラム

| 7月30日（月） | 研修会場 国際交流棟 1階 国際会議室 |
|-------------|---|
| 9：30～9：55 | 受付 |
| 10：00～10：10 | 開会の挨拶 |
| 10：15～11：45 | 講義1 「和のことば、日本語の美しさとやさしさ」 作家 杉山 美奈子 |
| 11：45～12：45 | 昼食 |
| 12：45～14：45 | 講義2 「漢字の知られざる楽しさ」 早稲田大学大学院教授 文学博士 笹原 宏之 |
| 14：45～15：00 | 休憩 |
| 15：00～16：30 | 講義3 「石井勲先生 ビデオ講義」 日本漢字教育振興協会元理事長 故石井 勲 |
| 16：30～ | 連絡事項 |
| 17：00～19：00 | 懇親会（レセプションホール） |
| 7月31日（火） | 研修会場 国際交流棟 1階 国際会議室 |
| 9：00～9：30 | 受付 |
| 9：40～11：30 | 講義4 「漢字の歴史を巡る旅」 —日本漢字文化の始まりに迫る— 国立歴史民俗博物館館長 文学博士 平川 南 |
| 11：30～12：30 | 昼食 |
| 12：30～13：00 | 石井式実践園の発表① 千葉県船橋市 瑞穂幼稚園 |
| 13：00～13：30 | 石井式実践園の発表② 新潟県南魚沼市 野の百合保育園 |
| 13：30～14：00 | 石井式実践園の発表③ 富山県黒部市 ちびっこきらら保育園 |
| 14：00～14：15 | 休憩 |
| 14：15～15：45 | 講義5 「楽しい群読」 —指導法及び脚本例— 石井式 指導部 |
| 15：45～16：00 | 閉会式 日本漢字教育振興協会理事長 水野 幸夫 |

第44回石井式漢字教育・夏期指導者研修会・講師プロフィール

杉山 美奈子 先生



山梨県生まれ。コミュニケーション・オフィスの勤務を経て、コミュニケーション・インストラクターとして活躍中。山梨学院短期大学非常勤講師。保育科と食物栄養科の学生達に言葉のマナーを教えている。コミュニケーションに関する著書多数。

『幸せをつかむことばの魔法』（PHP研究所）、『好かれる人は、ここが違う！話し方のコツがわかる本』（だいわ文庫）『メール感覚！ ツキを呼びこむ「ひと言レター」』（講談社）『気持ちが伝わるケータイメール術』（NHKまる得マガジン）他。監修をした『暮らしの絵本 話し方のマナーとコツ』（学研）は、37万部を超えるベストセラーに。

笹原 宏之 先生



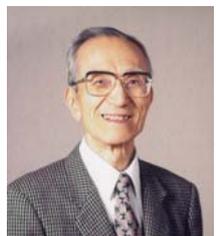
早稲田大学大学院教授。文学博士。日本語と文字について、様々な方面から調査研究を行う。早稲田大学 第一文学部（中国文学専修）を卒業、同大学院文学研究科を修了し、文化女子大学 専任講師、国立国語研究所 主任研究官などを務めた。文部科学省の「常用漢字」、法務省の「人名用漢字」、経済産業省の「JIS漢字」などの制定・改正にも携わる。日本漢字能力検定協会評議員。著書に『日本の漢字』（岩波新書）、『訓読みのはなし 漢字文化圏の中の日本語』（光文社新書）、『漢字の現在』（三省堂）、『当て字・当て読み 漢字表現辞典』（同）、共編に『新明解国語辞典』第7版（同）、『中等学校教科書 現代の国語』（同）などがあり、著書の『国字の位相と展開』（同）により金田一京助博士記念賞を受賞。

平川 南 先生



山梨県生まれ。宮城県多賀城跡調査研究所、東北歴史資料館を経て、現在、国立歴史民俗博物館館長、山梨県立博物館館長。文学博士（東京大学）専門は日本古代史。1990年第12回角川源義賞受賞。著書に『多賀城碑—その謎を解く』（共編 雄山閣出版）『漆紙文書の研究』（吉川弘文館）『よみがえる古代文書—漆に封じ込められた日本社会—』（岩波書店）『墨書土器の研究』（吉川弘文館）『古代地方木簡の研究』（同）『古代日本 文字の来た道』（編著 大修館書店）『全集日本の歴史 第2巻 日本の原像』（小学館）ほか多数。

故 石井 勲 先生



1919年山梨県生まれ。大東文化学院卒業後、応召。戦後、高等学校教諭として初めて教壇に立つ。その後、中学校、小学校教諭時代に石井式漢字教育指導法を次々と発表。大東文化大学幼少教育研究所所長、大東文化大学附属幼稚園青桐幼稚園園長、石井式国語教育研究会会長、松下政経塾講師、日本漢字教育振興協会会長、国語問題協議会副会長などを歴任。第6回世界人類能力開発会議で金賞受賞。菊池寛賞受賞。白川静賞受賞。

水野 幸夫 先生



1933年岐阜県生まれ、明治大学文学部卒業後、高等学校教諭を経て昭和54年、学校法人岐山学園を設立、布佐台幼稚園園長就任、平成8年千葉県私立幼稚園連合会常任理事となる。平成12年手賀の丘幼稚園設立、同園園長就任。平成22年社会福祉法人岐山会設立、禮和保育園理事長就任。昭和55年より石井式漢字教育を導入、実践。長年日本漢字教育振興協会副理事長として活動し、2012年3月より理事長に就任し、現在に至る。